

2 研究の実際 > (2) 「強み」に関する活動プログラム

ア 指導資料等について

御使用前に…

本研究では、小・中・高等学校それぞれ3時間の「『強み』に関する活動プログラム」(以下、「活動プログラム」)を作成しました。

「活動プログラム」の実践に当たっては、先生方の御使用の目的に合わせて展開案やワークシート等を活用ください。

※授業の中では、ファイル(個人のワークシート等をまとめる)やシールを使用します。詳細は、展開案を御確認ください。



展開案

授業の流れを知りたい!
学習の内容と活動の流れ、ねらいに沿った**指導上の留意点**が分かります。**板書計画**もそろうており、授業の全体像をイメージできます。

→[こちら](#)

スライド資料

即実践! 今から授業をしたい!
授業で使用するスライドは**シナリオ形式のノート付き**で、アニメーションのタイミングや時間配分等も分かり、すぐに実践可能です。

【スライド1】(1分)

●印はアニメーションを動かすタイミング
○は予想される児童の反応
□内は教師の動き

※ このスライドは、学習への理解を深めさせるために、

→[こちら](#)

授業のポイント

活動のねらいを知りたい!
誰もが安心して自分や友達の「強み」を伝え合うことができるようになるための**交流活動のポイント**が分かります。

→[こちら](#)

事前事後アンケート

子供の変容を追いたい!
「あなたによかとこSAGAシート(自己肯定感チェックシート)」で、活動プログラム実践前後の意識の変容を見ることができます。

→[こちら](#)